

家康公も演じた、
七百年続く喜劇。

大藏流狂言 以呂波 棒縛



平成27年4月18日(土)

13:00 発表会 無料 / 15:30 鑑賞会 2,000円

岡崎城二の丸能楽堂にて

主催 : 岡崎で狂言を楽しむ会

共催 : 大藏流奈良篠基会

後援 : 岡崎市観光協会 ・ 岡崎商工会議所

東京・奈良から岡崎へ、狂言師さんがやってくる！春の特別鑑賞会

第一部(発表会)

東京・奈良・岡崎のお弟子さんによる発表会

鬼	瓦	持田騎一郎	小仁処伴紀	後見	大藏基誠	
清	水	神保弘治	杉本 久	後見	竹内 寛	
盆	山	村上政隆	高橋真理子	後見	竹内 寛	
文	荷	柳井尚美	増田 健	柳井花観	後見	大藏基誠
魚	説	経	富田昌美	黒田剛人	後見	増田 健

第二部(鑑賞会)

以呂波 竹内颯来 大藏康誠

後見 大藏基誠

狂言祖父(おおじ)が、孫に「いろは」を教えようと「いろはにほへとちりぬるを…」と吟ずると…

棒 縛 大藏基誠 大藏教義 竹内 寛

後見 増田 健

主人は自分の外出中、2人の家来が酒を盗み飲みできぬよう、一計を案じます。まず太郎冠者に棒術の型をさせ…



狂言は日本最古の会話劇です。

狂言は今から700年前、「能」と共に確立し、能楽堂と呼ばれる劇場で能と交互に演じられています。「能楽」は、「能と狂言」この2つの異なった芸能を束ねた呼び名。貴族的な完成度を持つ能に対し、狂言は「庶民的・喜劇的」な物語を得意とし、愛すべき人間を楽しく描いています。

さまざまな観点から楽しむことのできる狂言は現代にも色褪せることなく、人間の心をとらえます。狂言のポップでディープな不思議空間は、全年齢対象…国籍も問わず。人間にとって大切な、核なる心を感じさせてくれます。時代の壁を越えて心から楽しむことの出来る素晴らしい芸能なのです。

大藏流は奈良で育った狂言最古の流派です。

現在、狂言の流派には、大藏流と和泉流の二派があります。狂言の起源は、十四世紀。比叡山の学僧で後醍醐天皇の侍講を勤められた玄恵法印にまで遡ります。戦国の不安定な時代、玄恵法印は、仏教の教えを面白おかしく和らげ、人としての生きる道を説く狂言を創始。狂言は、教養の為に活用されていました。

大藏流では、その玄恵法印を祖とし、11世大藏彌右衛門は織田信長に仕え「虎政」の名を拝領。豊臣秀吉にも仕え、12世大藏彌右衛門は、徳川幕府直属金春座の狂言大藏流の当主として認められ、大藏流の地位を確立しました。宗家・大藏彌右衛門家をはじめ、関西の茂山家・善竹家。関東には山本家等、各家ごと大藏流を守っています。

お問い合わせは…

「岡崎で「狂言」を楽しむ会」 杉浦まで

〒444-0811 岡崎市大西町字棚田36番地

有限会社イー・エル・プランナーズ内

TEL/0564-55-2117 FAX/0564-57-2450